

# 令和3年度シラバス

理学療法士科

神戸総合医療専門学校

科目名		授業形態	担当教員名	
コミュニケーション論		講義・演習	安東 大起	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間（2 単位）		15 回	1 年次	後期
授業の目的と概要				
<p>将来、理学療法士を目指すに当たり、医療従事者として様々な背景をもつ他者との関わり、人間関係を適切に構築する必要がある。そのためには人の多様性を理解し、思いやりの心や他者を尊重する気持ちを持ってコミュニケーションを行うことが重要である。本科目では、コミュニケーションに関する基本的知識と態度を身につけ、協力的に人と関わる体験を通してコミュニケーションの意義と重要性を学ぶことを目的とする。</p>				
到達目標				
<p>①コミュニケーションの意義と重要性を説明できる。                  ②コミュニケーションの方法と技能を説明できる。                  ③相手に関心をもって人の話を聞くことができる。                  ④話し手聞き手の役割りに基づいて適切なコミュニケーションスキルが活用できる。</p>				
授業計画				
回	内容			
1	オリエンテーション			
2	対人援助職としてのコミュニケーション力を高めよう			
3	聴き上手になる技術			
4	伝え上手になる技術			
5	共感上手になる技術			
6	押さえておきたい援助職のヒューマンスキル			
7	言葉を用いず信頼関係を築く作法			
8	相手の気持ちに寄り添う作法			
9	相手に質問するときの作法			
10	相手に伝えるときの作法			
11	相手のもっている力を引き出す作法			
12	苦痛を感じず相手と関わる作法			
13	対応が困難に思える人への作法			
14	コミュニケーションの仕組み			
15	共感コミュニケーションとは「共感コミュニケーション」を活用する			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	40%			
小テスト	30%			
レポート	30%			
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名	出版社名		
対人援助の作法 誰かの力になりたいあなたに必要なコミュニケーションスキル	竹田伸也	中央法規出版		
心をつなげる 相手と本当の関係を築くために大切な「共感コミュニケーション」12の方法	アンドリュー・ニューバーグ	東洋出版		
対人援助の現場で使える 聴く・伝える・共感する技術 便利帖	大谷佳子	翔泳社		
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名	出版社名		
自由記載				
備考				